

令和元年度
国立大学附属学校園の実態調査
〈基本調査〉

日本教育大学協会企画・調査研究委員会
国立大学附属学校の在り方検討ワーキンググループ

令和2年1月

I-1 基本調査

1 附属学校園を有する会員、および附属学校園の規模(令和元年5月1日現在)

合計： 54大学・学部、254附属学校園

※教員数は、学校基本調査における「本務者」の定義に基づく専任の教員数

地区	大学・学部名			幼稚園			小学校			中学校			高等学校			特別支援学校			園児・児童・生徒数		
	園児数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数	生徒数	学級数	教員数	生徒数	学級数	教員数	園児・児童・生徒数	学級数	教員数						
北海道	北海道教育大学																				
	附属旭川幼稚園	61	3	5	附属札幌小学校 (特別支援学級3クラス14名含む)	433	15	22	附属札幌中学校 (特別支援学級3クラス23名含む)	345	12	23		附属特別支援学校 (小学部3クラス18名、 中学部3クラス18名、 高等部3クラス24名)	60	9	30				
	附属函館幼稚園	60	3	4	附属旭川小学校	426	12	18	附属旭川中学校	313	9	17									
					附属釧路小学校	345	12	18	附属釧路中学校	301	9	17									
				附属函館小学校	402	12	18	附属函館中学校	314	9	17										
東北	弘前大学教育学部																				
	附属幼稚園	64	4	6	附属小学校	554	21	31	附属中学校	489	15	31		附属特別支援学校	56	9	32				
	岩手大学教育学部																				
	附属幼稚園	109	5	9	附属小学校 (複式学級3クラス含む)	605	21	28	附属中学校	436	12	22		附属特別支援学校 (小学部3クラス、中学部3クラス、 高等部3クラス)	58	9	28				
	宮城教育大学																				
	附属幼稚園	132	5	7	附属小学校	701	24	35	附属中学校	468	12	23		附属特別支援学校	59	9	33				
	秋田大学教育文化学部																				
	附属幼稚園	87	4	7	附属小学校	557	18	35	附属中学校	436	12	26		附属特別支援学校	60	9	30				
	山形大学																				
	附属幼稚園	97	4	6	附属小学校	589	19	28	附属中学校	404	12	25		附属特別支援学校	57	9	31				
福島大学																					
附属幼稚園	59	3	4	附属小学校	622	20	32	附属中学校	409	12	24		附属特別支援学校	53	9	33					
関東	茨城大学教育学部																				
	附属幼稚園	117	5	7	附属小学校 (複式学級1クラス含む)	617	19	27	附属中学校	445	12	23		附属特別支援学校	51	10	30				
	筑波大学																				
					附属小学校	768	24	37	附属中学校	600	15	30	附属高等学校	720	18	42	附属視覚特別支援学校	252	37	89	
									附属駒場中学校	360	9	15	附属駒場高等学校	480	12	29	附属聴覚特別支援学校	272	40	86	
												附属坂戸高等学校	480	12	42	附属大塚特別支援学校	76	13	37		
																附属桐が丘特別支援学校	141	31	70		
																附属久里浜特別支援学校	54	18	36		
	宇都宮大学教育学部																				
	附属幼稚園	155	5	7	附属小学校	619	18	26	附属中学校	446	12	23		附属特別支援学校	58	9	28				
群馬大学教育学部																					
附属幼稚園	140	5	7	附属小学校	599	18	28	附属中学校	407	12	25		附属特別支援学校	55	9	31					
埼玉大学教育学部																					
附属幼稚園	80	3	5	附属小学校	629	18	28	附属中学校	494	12	27		附属特別支援学校	59	9	32					
千葉大学教育学部																					
附属幼稚園	140	5	7	附属小学校 (帰国児童学級3クラス11名含む)	634	21	36	附属中学校 (帰国生徒36名含む)	454	12	29		附属特別支援学校	53	9	28					
東京大学教育学部																					

地区	大学・学部名																					
	幼稚園	園児数 学級数 教員数			小学校	児童数 学級数 教員数			中学校	生徒数 学級数 教員数			高等学校	生徒数 学級数 教員数			特別支援学校	園児・児童・生徒数 学級数 教員数				
関東	東京学芸大学																					
	附属幼稚園小金井園舎	141	6	9	附属世田谷小学校	617	18	27	附属世田谷中学校	434	12	21	附属高等学校	980	24	56	附属特別支援学校	67	11	33		
	附属幼稚園竹早園舎	59	2	4	附属小金井小学校	618	18	28	附属小金井中学校	439	12	23										
					附属大泉小学校 (帰国クラス3年～6年各1含む)	580	22	40	附属竹早中学校	448	12	23										
					附属竹早小学校	410	12	19														
		東京藝術大学音楽学部																				
													附属音楽高等学校	121	3	13						
	北陸	お茶の水女子大学																				
		附属幼稚園	156	6	9	附属小学校 (帰国児童教育学級3クラス含む)	632	21	31	附属中学校 (帰国生徒教育学級3クラス含む)	342	12	26	附属高等学校	360	9	24					
		横浜国立大学教育学部																				
					附属鎌倉小学校	623	18	24	附属鎌倉中学校	487	12	24		附属特別支援学校	69	9	29					
					附属横浜小学校	630	18	28	附属横浜中学校	390	9	20										
山梨大学教育学部																						
附属幼稚園		87	4	7	附属小学校	616	18	25	附属中学校	461	12	25		附属特別支援学校	54	9	29					
新潟大学教育学部																						
附属幼稚園		75	3	5	附属新潟小学校	455	15	25	附属新潟中学校	357	9	18		附属特別支援学校	61	9	29					
					附属長岡小学校	387	12	20	附属長岡中学校	355	9	18										
上越教育大学																						
附属幼稚園	63	3	5	附属小学校	411	12	19	附属中学校	336	9	18											
北陸	富山大学人間発達科学部																					
	附属幼稚園	89	5	7	附属小学校	419	12	18	附属中学校	478	12	23		附属特別支援学校	59	9	32					
	金沢大学人間社会学域学校教育学類																					
	附属幼稚園	114	5	7	附属小学校	647	20	27	附属中学校	473	12	23	附属高等学校	363	9	23	附属特別支援学校	62	9	29		
	福井大学教育学部																					
	附属幼稚園	121	6	7										附属特別支援学校	60	9	33					
	信州大学教育学部																					
	附属幼稚園	92	4	9	附属長野小学校	445	12	19	附属長野中学校	602	15	30		附属特別支援学校	54	9	31					
					附属松本小学校	421	12	18	附属松本中学校	474	12	23										
	岐阜大学教育学部																					
				附属小学校 (特別支援学級3クラス19名、 教員4名含む)	646	21	29	附属中学校 (特別支援学級3クラス22名、 教員3名含む)	499	15	27											
東海	静岡大学教育学部																					
	附属幼稚園	101	5	7	附属静岡小学校	598	18	26	附属静岡中学校	445	12	21		附属特別支援学校	58	9	29					
					附属浜松小学校	417	12	18	附属浜松中学校	333	9	17										
								附属島田中学校	336	9	17											
	愛知教育大学																					
	附属幼稚園	139	6	7	附属名古屋小学校 (帰国子女学級3クラス16名含む)	629	22	33	附属名古屋中学校 (帰国子女学級3クラス27名含む)	473	15	31	附属高等学校	598	15	34	附属特別支援学校	60	9	29		
					附属岡崎小学校	591	18	24	附属岡崎中学校	444	12	25										
	三重大学教育学部																					
	附属幼稚園	122	5	7	附属小学校	589	18	26	附属中学校	428	12	26		附属特別支援学校	51	9	29					

地区	大学・学部名																				
	幼稚園	園児数	学級数	教員数	小学校	児童数	学級数	教員数	中学校	生徒数	学級数	教員数	高等学校	生徒数	学級数	教員数	特別支援学校	園児・児童・生徒数	学級数	教員数	
近畿	滋賀大学教育学部																				
	附属幼稚園	127	5	7	附属小学校	621	18	27	附属中学校	335	9	19					附属特別支援学校	55	9	30	
	京都教育大学																				
	附属幼稚園	135	5	7	附属桃山小学校	420	12	21	附属桃山中学校 (帰国生徒教育学級3クラス含む)	404	12	26	附属高等学校	543	14	38	附属特別支援学校	69	9	36	
	大阪教育大学																				
	附属幼稚園	148	6	9	附属天王寺小学校	625	18	25	附属天王寺中学校	448	12	22	附属高等学校	1338	33	84	附属特別支援学校	57	9	30	
					附属池田小学校	609	18	27	附属池田中学校	449	12	22									
					附属平野小学校	627	18	26	附属平野中学校	335	9	20									
	兵庫教育大学																				
	附属幼稚園	85	6	8	附属小学校	513	18	27	附属中学校	285	9	23									
	神戸大学																				
	附属幼稚園	119	6	7	附属小学校	407	12	20									附属特別支援学校	53	9	33	
	奈良教育大学																				
	附属幼稚園	115	5	7	附属小学校 (特別支援学級含む)	532	21	33	附属中学校 (特別支援学級含む)	430	15	28									
奈良女子大学																					
附属幼稚園	135	6	8	附属小学校	408	12	17														
和歌山大学教育学部																					
				附属小学校	541	20	30	附属中学校	417	12	25					附属特別支援学校	56	9	34		
鳥取大学																					
附属幼稚園	52	3	6	附属小学校	372	12	19	附属中学校	406	12	23					附属特別支援学校	54	9	29		
島根大学教育学部																					
附属幼稚園	50	2	7																		
岡山大学教育学部																					
附属幼稚園	144	6	8	附属小学校	619	18	32	附属中学校	535	15	31					附属特別支援学校	58	9	30		
広島大学																					
附属幼稚園	75	3	5	附属小学校	379	12	19	附属中学校	372	9	18	附属高等学校	601	15	39						
附属三原幼稚園	77	3	6	附属東雲小学校 (特別支援学級3クラス8名含む)	427	18	26	附属東雲中学校 (特別支援学級3クラス15名含む)	255	9	19	附属福山高等学校	599	15	38						
				附属三原小学校	372	12	18	附属三原中学校	234	6	14										
								附属福山中学校	365	9	18										
山口大学教育学部																					
附属幼稚園	95	5	7	附属山口小学校	401	12	20	附属山口中学校	421	12	25					附属特別支援学校 (小学部3クラス7名、教員6名、 中学部3クラス13名、教員10名、 高等部3クラス22名、教員12名)	42	9	28		
				附属光小学校	365	12	19	附属光中学校	252	9	18										

地区	大学・学部名			幼稚園			小学校			児童数 学級数 教員数			中学校			生徒数 学級数 教員数			高等学校			生徒数 学級数 教員数			特別支援学校			園児・児童・生徒数		
	幼稚園	園児数	学級数	教員数	小学校	児童数	学級数	教員数	中学校	生徒数	学級数	教員数	高等学校	生徒数	学級数	教員数	特別支援学校	園児・児童・生徒数												
四国	鳴門教育大学																													
	附属幼稚園	129	5	7	附属小学校	588	18	27	附属中学校	415	12	25					附属特別支援学校	59	9	31										
	香川大学教育学部																													
	附属幼稚園	78	3	5	附属高松小学校	615	19	25	附属高松中学校	329	9	19						附属特別支援学校	59	9	29									
	附属幼稚園高松園舎	58	2	2	附属坂出小学校	414	12	18	附属坂出中学校	329	9	19																		
	愛媛大学教育学部																													
	附属幼稚園	120	6	8	附属小学校	561	18	27	附属中学校	414	12	23	愛媛大学附属高等学校	359	9	35	附属特別支援学校	59	9	29										
	高知大学教育学部																													
	附属幼稚園	99	5	6	附属小学校	653	21	33	附属中学校	410	12	24						附属特別支援学校 (小学部3クラス19名、教員8名、 中学部3クラス18名、教員8名、 高等部3クラス24名、教員11名、 副校長、養護教諭)	61	9	29									
	福岡教育大学																													
	附属幼稚園	57	3	6	附属福岡小学校 (特別支援学級3クラス、 帰国子女学級3クラス含む)	441	18	26	附属福岡中学校 (特別支援学級3クラス含む)	367	12	21																		
					附属小倉小学校	420	13	18	附属小倉中学校	356	9	17																		
				附属久留米小学校	419	12	18	附属久留米中学校	360	9	17																			
佐賀大学教育学部																														
附属幼稚園	68	3	7	附属小学校	620	18	25	附属中学校	444	12	24						附属特別支援学校	57	9	30										
長崎大学教育学部																														
附属幼稚園	131	5	7	附属小学校	568	21	30	附属中学校	430	12	25						附属特別支援学校 (小学部3クラス17名、教員8名、 中部部3クラス17名、教員8名、 高等部3クラス21名、教員9名)	55	9	25										
熊本大学教育学部																														
附属幼稚園	134	5	7	附属小学校	647	18	25	附属中学校	480	12	22						附属特別支援学校	61	9	32										
大分大学教育学部																														
附属幼稚園	143	5	9	附属小学校	620	18	26	附属中学校	480	12	22						附属特別支援学校	53	9	30										
宮崎大学教育学部																														
附属幼稚園	121	5	7	附属小学校 (特別支援学級3クラス含む)	598	21	29	附属中学校 (特別支援学級3クラス含む)	494	15	28																			
鹿児島大学教育学部																														
附属幼稚園	86	3	5	附属小学校	863	27	37	附属中学校	559	15	31						附属特別支援学校	58	9	27										
琉球大学教育学部																														
				附属小学校	613	20	26	附属中学校	480	12	24																			

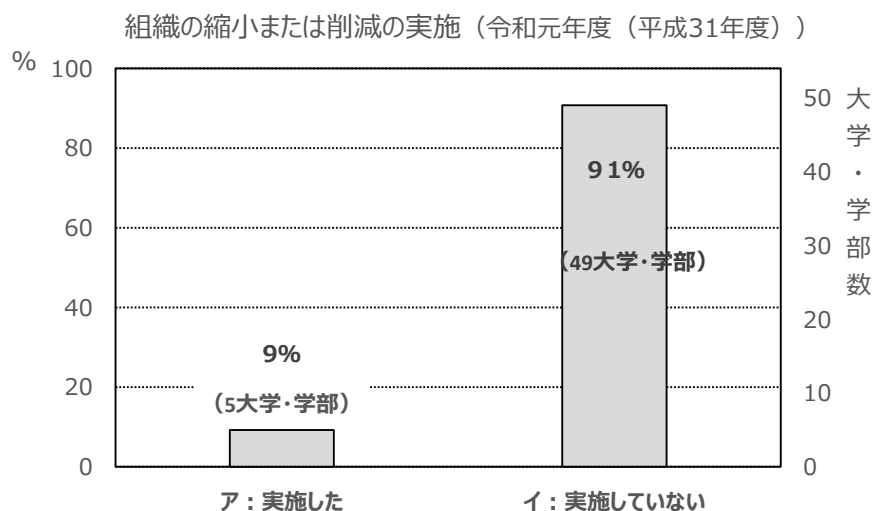
その他（一貫校など）

大学・学部名	児童・生徒数	学級数	教員数
東京大学教育学部	720	18	42
東京学芸大学	729	24	56
福井大学教育学部	724	21	37
京都教育大学	864	33	57
	(内訳) 前期課程 587名 21クラス 後期課程 277名 12クラス		
神戸大学	784	22	52
奈良女子大学	726	18	45
島根大学教育学部	747	24	48
	(内訳) 前期課程 353名 12クラス 教員20名 後期課程 394名 12クラス 教員28名		

附属学校園数内訳

附属幼稚園	51
附属小学校	69
附属中学校	69
附属高校	13
附属特別支援学校	45
一貫校など	7
合計（附属学校園数）	254

2 附属学校園の組織の縮小または削減の実施（令和元年度（平成31年度））



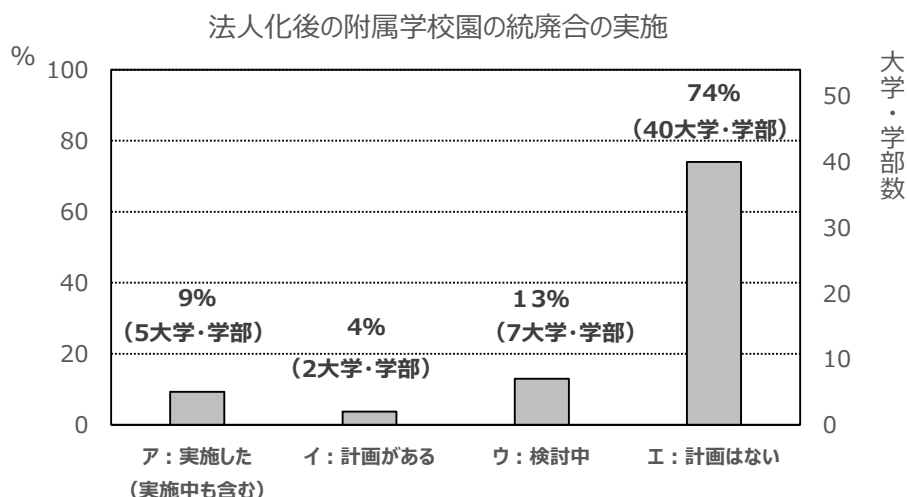
ア：実施した5大学・学部、およびその内容と理由

大学：学部名			
附属学校園名	縮小等の内容	理由	
群馬大学教育学部			
附属小学校	本務教員を、昨年度から2名減らした。	組織変更に伴い、学部附属機関である共同研究センター、子ども総合サポートセンター、FDセンターの本校配属教員2名分を、他校園の人員として配置することになったため。	
信州大学教育学部			
附属幼稚園	平成30年度に1学級減（内訳：年中1学級30名減）としたことに伴い、令和元年度（平成31年度）に1学級減（内訳：年長1学級減）	3年保育が主流であり、4歳児からの入園希望者が減ったため、平成30年度から充足率の関係から4歳児の募集を停止し、4歳児を2学級から1学級へと減らした。また、年少は、少人数にしてよりきめ細やかに指導したいため、30人を15人の2学級とした。	
愛知教育大学			
附属名古屋小学校	それまで1学年3または4学級編成だったところを、平成30年度入学の学年から3学級編成とした。 平成30年度に4学級編成の学年が卒業したため、1学級減となった。それに伴い教員数も1名減となった。	学年単位により異なる変則的な学級編成を解消するため。	
和歌山大学教育学部			
附属小学校	従来まで各学年3学級のところ、本年度入学の1年生から2学級へと削減した。今後6年間をかけて全学年2学級へと順次学級数を削減する予定である。	和歌山県全体の児童数減を勘案しつつ、附属学校の機能強化に向けて、小中の一貫的取り組みと附属特別支援学校との連携等をさらに推し進め、新たな附属学校のあり方を検討していく第一ステップとするため。これに合わせて、令和2年度から小中学校で1名の常勤校長を配置することが決定している。	

島根大学教育学部		
附属幼稚園	各学年2クラスにそれぞれ担任を1クラスに2名、学年の副担任として嘱託講師を1学年に1名ずつ雇用していたが、1学年1クラスに縮小し、学年の副担任を廃止した。	組織を縮小することで教員の負担と人件費を削減し、園児への教育の充実を図るため。
附属義務教育学校	附属小学校と附属中学校を統合し、附属義務教育学校とした。併せて、後期課程（統合前の中学校）の学級定員を35名から30名に縮小した。	山陰地域においては義務教育学校設立を検討する地域の増加が見込まれるため、学部では小中免許併有制に課程変更した。このことから、当該課程学生の教育実習の受入れのため、併せて、地域における義務教育学校のモデル校となるため。また、学級定員を減らすことで、生徒への教育内容の充実を図るため。

I-2 統廃合、学級数・学級定員数の検討

1 法人化後の附属学校園の統廃合の実施



ア：実施した5大学・学部、及びその内容

東京学芸大学	<p><中等教育学校> 附属大泉中学校と附属高等学校大泉校舎を統合し附属国際中等教育学校とした。 (平成19年度～)</p>
福井大学教育学部	<p><義務教育学校> 附属小学校及び附属中学校は、附属義務教育学校へ移行したため、学校数が2から1に変更となった。 (平成29年度～)</p>
京都教育大学	<p><義務教育学校> 附属京都小学校及び附属京都中学校は、義務教育学校（学校名：附属京都小中学校）へ移行したため、学校数が2から1に変更となった。 ただし、学級数や教員数等の縮小等はない。 (平成29年度～)</p>
神戸大学	<p><中等教育学校> 学部附属であった幼稚園1園、小学校2校、中学校2校及び特別支援学校1校を、大学附属の幼稚園1園、小学校1校、中等教育学校新規1校及び特別支援学校1校に再編。 (平成21年度～)</p>
島根大学教育学部	<p><義務教育学校> 附属小学校及び附属中学校を統合し、附属義務教育学校を開校した。 (令和元年度～)</p>

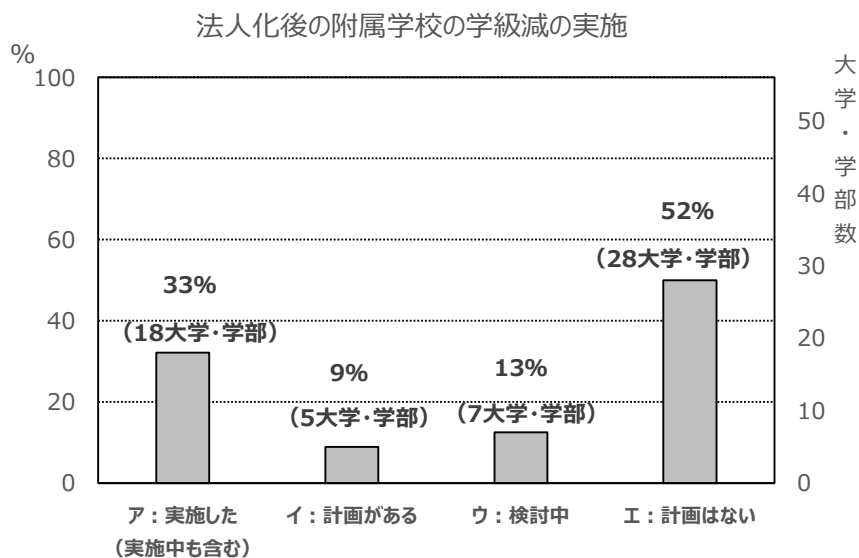
イ：計画がある2大学・学部、及びその内容

岐阜大学教育学部	令和2年度から附属小学校と附属中学校の義務教育学校化の計画がある。
静岡大学教育学部	令和3年度から附属浜松小学校と附属浜松中学校は、小中一貫校へ移行する。

ウ：検討中の7大学・学部、及びその内容

北海道教育大学	令和3年度にむけて、附属釧路小学校と附属釧路中学校の義務教育学校化を検討中である。
岩手大学教育学部	平成29年10月以降、学部内で附属学校の校長の専任化、学級数、教員数について検討を行っているが、まだ成案には至っていない。
横浜国立大学教育学部	現時点では具体的な計画はないが、将来構想の中で検討する必要があると考えている。
大阪教育大学	現時点では具体的な計画はないが、将来構想の中で検討することになると考えている。
和歌山大学教育学部	附属特別支援学校が附属小中学校とは別の場所にあり、しかも所在地が低い土地であることから南海大地震の危険性を払拭できない。今後、附属特別支援学校を附属小中学校に隣接させる、もしくは特別支援学級として統合を進める等、様々な論議を始めたところである。（具体的な計画はできていない）
広島大学	学内の附属学校園の機能強化を検討する会議の中で統廃合に関しても検討している。
香川大学教育学部	附属坂出学園は、幼・小・中の12年間の子どもの学びをつなぐ幼稚園接続型の義務教育学校化を検討中である。

2 法人化後の附属学校園の学級減の実施



ア：実施した（実施中も含む）18大学・学部、およびその内容

弘前大学教育学部	<附幼> 平成24年度まで3歳児1学級20名、4歳児2学級70名及び5歳児2学級70名の定員としていたが、平成27年度から完全3年保育（3歳児2学級30名、4歳児1学級30名及び5歳児1学級30名）とするため、平成25年度から定員の学年進行を行った。この過程において、平成25年度3歳児2学級30名、4歳児1学級30名、5歳児2学級70名とし、平成26年度から3歳児2学級30名、4歳児1学級30名、5歳児1学級30名の定員で、1学級減となった。
秋田大学教育文化学部	<附幼> 完全3年保育への移行のため5学級から4学級へ減。（平成28年度～）
山形大学	<附幼> 3歳児1学級増・4歳児1学級減（平成22年度） 5歳児1学級減（平成23年度） <附小> 1・2複式学級の廃止（平成22年度） 5・6複式学級の廃止（平成26年度）
福島大学	<附小> 24学級→20学級（35人対応のため3～6学年毎1学級削減）（平成24年度～）
筑波大学	<特支> 筑波大学附属聴覚特別支援学校の幼稚部の学級数を平成29年度入学より1学年3学級から1学年2学級に縮小。
群馬大学教育学部	<附小> それまで1学年4クラスだったところを、平成22年度に入学した学年から、1学年3クラスになるようにした。
千葉大学教育学部	<附小> 平成16年度からの入学定員を、それまでの160名から120名に減員し、平成21年度までに全学年が定員を40人として3学級体制となった。 <附中> 生徒数は、平成17年度入学の1年生から順次減らし、平成19年度に各学年5クラス（計15クラス）を各学年4クラス（計12クラス）に一斉に変更した。
東京学芸大学	<附小> 附属学校に求められている、国の教育政策の推進に寄与する「拠点校」としての役割、地域の教育の「モデル校」としての役割を追求していくため、附属小金井小学校の入学定員の見直し（1学年児童数160人→120人(40人減：1学級減))を行い、弾力的なクラス編成や教科内容に応じた少人数指導の実施等、教員を柔軟に配置し、児童にキメ細かい指導を行う体制を構築するため、平成22年度から学年進行により実施。

山梨大学教育学部	<附幼> 平成16年度に教員削減のため、附属幼稚の学級1・教員1名の減
信州大学教育学部	<附幼> 平成30年度1学級減(内訳：年中1学級30名減とし、年少30人学級を15人2学級とした)、令和元年度(平成31年度)1学級減(内訳：年長1学級減)とした。 <附小・中> 附属長野中学校で3年間、附属長野小学校で6年間かけて、学級をそれぞれ1学級減とした。(平成20年度～)
愛知教育大学	<附小> 平成30年度入学の学年から附属名古屋小学校の学級数を1学年「3または4学級」から「3学級」とした。
神戸大学	<附小・中等教育学校> 小学校2校33学級を小学校1校12学級に、中学校2校21学級を中等教育学校1校18学級に再編中。(平成21年度～)
和歌山大学教育学部	<附小> 従来まで各学年3学級のところ、本年度入学の1年生から2学級へと削減した。今後6年間をかけて全学年2学級へと順次学級数を削減する予定である。(令和元年度～)
鳥取大学	<附幼> 平成24年度：学級数6学級→5学級に変更(全定員数130人) 平成25年度：学級数5学級→4学級に変更(全定員数90人)、 (令和元年度(平成31年度)：入園児数の減により令和元年度の限定措置として、4学級を3学級としたが定員数は変更なし(全定員数90人))
島根大学教育学部	<附幼> 平成30年度に4歳児学級の募集を2クラスから1クラスに削減した。そのため平成30年度は4歳児学級が1クラス、5歳児学級が2クラス、令和元年度(平成31年度)に各学年が1クラスとなった。
岡山大学教育学部	<附小> 3学級+複式1学級 → 3学級 (平成21年度～)
広島大学	<附幼> 平成27年度から三原幼稚園の4、5歳児の学級数を2から1へ削減した。
長崎大学教育学部	<附中> 平成21年度から、1学年の学級数を5クラスから4クラスに減らし、学年進行で平成23年度には1～3学年で学級数はすべて4クラスになった。

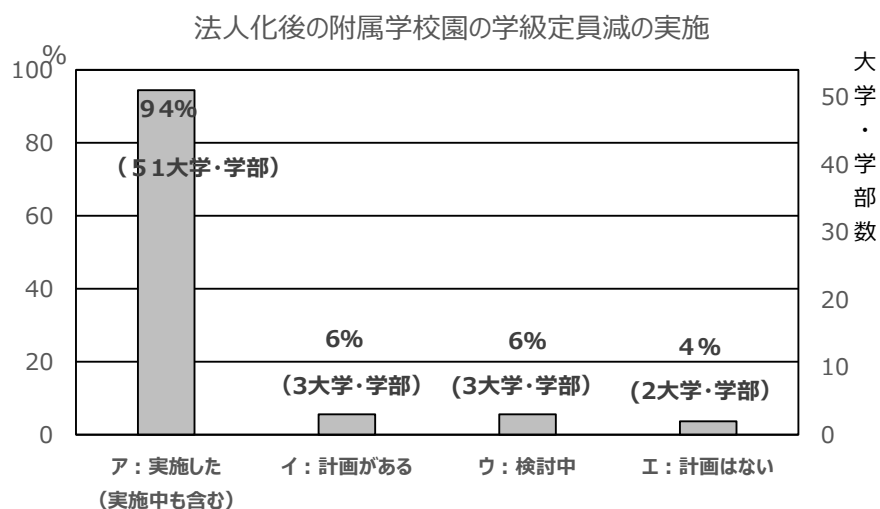
イ：計画がある5大学・学部、およびその内容

岐阜大学教育学部	<附小・中> 令和2年度から義務教育学校(附属小中学校)新七年生から学級数を順次3学級にする計画がある。
愛知教育大学	<附小> 令和2年度より附属名古屋小学校の帰国子女学級(4学年から入学。現在は4～6学年に1学級ずつ)の募集を停止する計画である。
京都教育大学	<附高> 令和2年度から入学定員を変更(200人→160人)し、1学年5学級→4学級へ変更する計画がある。 (入学者数の減により、令和元年度(平成31年度)の限定措置として、1年生のクラスを5学級から4学級としたが定員数は変更なし)
長崎大学教育学部	<附幼> 令和2年度から入園募集定員を縮減し、令和4年度に1学級削減し、4学級制(3歳児：2クラス、4・5歳児：各1クラス)にする。
鹿児島大学教育学部	<附小> 令和3年度から1学級減を予定

ウ：検討中の7大学・学部、及びその内容

岩手大学教育学部	平成29年10月以降、学部内で附属学校の校長の専任化、学級数、教員数について検討を行っているが、まだ成案には至っていない。
宮城教育大学	有識者会議報告を受けて全体的に規模縮小の可能性について検討中だが、まだ公表できるような内容にはなっていない。
宇都宮大学教育学部	検討中
金沢大学人間社会学域 学校教育学類	各学校園の規模（学級構成・学級数、学級定員、教職員数）について、検証・検討中である。
愛知教育大学	<附高> 令和3年度より附属高等学校の現在の1学年5学級編成を1学年3学級編成とすることを検討中である。
大阪教育大学	現時点では具体的な計画はないが、将来構想の中で検討することになると考えている。
広島大学	学内の附属学校園の機能強化を検討する会議の中で学級減に関しても検討している。

3 法人化後の附属学校園の学級定員減の実施



ア：実施した（実施中も含む）51大学・学部、およびその内容

北海道教育大学	<p><附幼> 附属幼稚園の保育内容を質・量ともに充実する見直しを行うとともに、きめ細やかな指導実現のため、附属旭川幼稚園（学級数3）及び附属函館幼稚園（学級数3）の4歳児の定員を10名、5歳児の定員を10名削減した。（総定員数としては180名から140名となった）（平成29年度～）</p> <p><附小> 附属小学校（札幌、旭川、釧路、函館の4校）については、平成24年度から、1学級あたりの定員を35名としている。</p> <p><附中> 附属中学校（札幌、旭川、釧路、函館の4校）については、平成26年度から、1学級あたりの定員を35名としている。</p>
弘前大学教育学部	<p><附小> 附属小学校では、平成24年度から第1学年の単式学級の定員を、1学級40名から33名とした。</p> <p><附中> 附属中学校では、平成27年度から第1学年の学級の定員を、1学級40名から33名とした。</p>
岩手大学教育学部	<p><附中> 附属中学校の学級定数を、平成30年度から学年進行で40名から35名に削減した。</p>
宮城教育大学	<p><附小> 学級定員数を36人→30人に減（平成24年度第一学年から順次学年進行により平成29年度完成）</p>
秋田大学教育文化学部	<p><附幼>（平成27年度～）：3歳児20名から16名（20名1学級⇒16名2学級）、4歳児35名から32名（35名2学級⇒32名1学級）、5歳児35名から32名（35名2学級⇒32名1学級）</p> <p><附小>（平成24年度～）：平成24年度定員40名3学級⇒定員35名3学級、平成27年度定員32名3学級</p> <p><附中>（平成30年度～）：定員40名3学級⇒定員36名3学級</p>

山形大学	<p><附幼> 3歳児24名→30名（平成19年度） 3歳児30名→34名／4歳児30名→34名：2学級×30名→1学級×34名（平成22年度） 5歳児2学級×60名→1学級×34名（平成23年度）</p> <p><附小> 40名→34名（平成22年度から学年進行／平成27年度完成） <附中> 40名→34名（平成28年度から学年進行／平成30年度完成）</p>
福島大学	<p><附小> 120名→105名（40→35人対応）（平成24年度～） <附中> 160名→140名（40→35人対応）</p>
茨城大学教育学部	<附中> 附属中学校の学級定員数を40名から36名に削減した。（平成30年度～）
筑波大学	<附小> 筑波大学附属小学校の学級定員数を学年進行で1学級40名から1学級32名に縮小。令和元年度（平成31年度）入学において全学年が1学級32名となった。（平成26年度～）
宇都宮大学教育学部	<附中> 平成30年度から中学校の学級定員を40名から36名に変更
群馬大学教育学部	<p><附幼> 平成22年度から定員を156名から140名に減らした（年少の定員を8名増、年中・年長を各12名減）。</p> <p><附小> 平成24年度からそれまで1クラスの定員が40名だったところを、平成24年度に入学した学年から、定員を35名に削減した。</p> <p><附中> 平成28年度から定員40名から35名（1学年）：平成29年度定員40名から35名（1・2学年）：平成30年度定員40名から35名（1・2・3学年）</p>
埼玉大学教育学部	<p><附幼> 附属幼稚園の4歳児学級定員数を35名から30名に削減した。（平成25年度から） <附小> 附属小学校の学級定員数を40名から35名に削減した。（平成25年度入学生から） <附中> 附属中学校の学級定員数を40名から35名に削減した。（令和元年度（平成31年度）入学生から）</p>
千葉大学教育学部	<p><附幼> 平成25年度以前は3歳児から5歳児全園児のトータルの定員が160名だったが、平成25年度新入園児から徐々に定員を減らし、各クラス28名とした。平成27年度から、全クラス28名になり、トータルの園児数が140名になった。</p> <p><附小> 平成24年度からの入学定員を、それまでの120名から105名に減員し、平成28年度には、1～5年生の学級の定員は35名、6年生の学級の定員は40名となり、平成29年度からは、全学年の学級定員が35名となっている。</p> <p><附中> 平成25年度から各学級の定員を43名から38名（一般生40名＋帰国生3名から一般生35名＋帰国生3名）としている。</p>
東京学芸大学	<附小・中> 平成23年度から実施された公立小学校1年生の学級定員35名化を受け、本学の各附属小学校も平成24年度から学年進行で学級定員の35名化を進めてきた。平成29年度には附属小学校全学年で学級定員が35名となった。平成30年度から附属中学校へ進学するのに合わせ学年進行で附属3中学校の学級定員も35名に減らし、小中連携の一層の推進を可能とし、細やかな指導を実現するもの。
お茶の水女子大学	<p><附幼> 平成24年度から附属幼稚園の4歳児入園定員を10人削減の60人とした。 <附小> 平成24年度から附属小学校の入学定員を15人削減の105人（3クラス×35人）とした。 <附中> 平成24年度から平成30年度までに附属中学校の入学定員を段階的に15人削減の105人（3クラス×35人）とした。</p>
横浜国立大学教育学部	<附中> 鎌倉中学校、横浜中学校について、令和元年度（平成31年度）入学生から1学級当たりの定員を40人から35人とした。（帰国生徒定員1学年15人は変更なし）

山梨大学教育学部	<p><附小> 平成24年度入学児童から、附属小学校定員を120名から105名に変更</p> <p><附中> 令和元年度（平成31年度）入学生徒から、附属中学校定員を160名から144名に変更</p>
新潟大学教育学部	<p><附小> 平成23年4月に「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の一部が改正され、公立小学校第1学年の学級編制の標準が40人から35人に引き下げられた。それに準じて、本学においても、きめ細かで質の高い教育の実現に資するため、平成24年度から小学校第1学年の学級定員を35人に引き下げ、平成29年度には、小学校全学年学級定員数35人を実現した。</p>
上越教育大学	<p><附幼> 平成24年度から4歳児1学級を35人から30人に、平成25年度から5歳児1学級を35人から30人に引き下げた。</p> <p>平成30年度から学年進行で3歳児20人、4歳児30人、5歳児30人から3、4、5歳時ともに24人に変更中である。</p> <p><附小> 平成24年度から学年進行で1学級40人を35人に引き下げた。</p> <p><附中> 平成30年度から学年進行で1学級40人から35人に引き下げ中である。</p>
富山大学人間発達科学部	<p><附小> 平成24年度から学年進行により、附属小学校の学級定員を1学年40人から35人とした。</p>
金沢大学人間社会学域学校教育学類	<p><附幼> 平成28年度 3歳児 20名 ⇒ 24名 4歳児 70名 ⇒ 48名、5歳児 70名 ⇒ 48名</p> <p><附小> 平成24年度 1年生 120名 ⇒ 105名</p> <p>平成27年度 2年生、3年生、4年生 40名 ⇒ 35名 3年生、4年生の複式学級 40名 ⇒ 12名</p> <p>平成28年度 5年生 40名 ⇒ 39名</p> <p>平成29年度 6年生 40名 ⇒ 39名</p>
福井大学教育学部	<p><義務教育学校> 平成30年度義務教育学校後期課程・7年生について、40名×3クラスから35名×3クラスへの定員減を実施した。</p> <p>令和元年度（平成31年度）附属義務教育学校後期課程・8年生について、40名×3クラスから35名×3クラスへの定員減を実施した。</p>
信州大学教育学部	<p><附小> 平成24年度から附属松本小学校において1学級定員を40人から35人へ減じた。また、平成25年度から附属長野小学校も同様に40人から35人へ減じた。両校とも総定員は420名となった。</p>
岐阜大学教育学部	<p><附小> 平成24年度から学級編制35人に対応するため、小学校新一年生の学級定員数順次35名にした。</p>
静岡大学教育学部	<p><附小> 静岡小学校、浜松小学校について、平成24年度入学生から1学級当たりの定員を40人から35人とした。</p> <p><附中> 静岡中学校、浜松中学校、島田中学校について、平成30年度入学生から1学級当たりの定員を40人から36人とした。</p>
愛知教育大学	<p><附幼> 平成23年度まで4歳児・5歳児ともに1学級35名だったところを、平成24年度から4歳児1学級30名に、平成25年度から5歳児1学級30名に、平成30年度から4歳児1学級25名に、令和元年度（平成31年度）から5歳児1学級25名とした。</p> <p><附小> 附属名古屋小学校（普通学級）及び附属岡崎小学校：平成23年度まで1学級40名だったところを、平成24年度入学の学年から1学級35名に、令和元年度（平成31年度）入学の学年から1学級30名とした。</p> <p><附中> 附属名古屋中学校及び附属岡崎中学校：1学級40名だったところを、平成30年度入学の学年から1学級36名とした。</p>
三重大学教育学部	<p><附幼> 附属幼稚園において、平成26年度より5歳児クラス、4歳児クラスともに定員35名から30名に減じた。それぞれ2クラスを有しているため、総数で20名の減となっている。</p>

滋賀大学教育学部	<p><附幼> 附属幼稚園 4歳児36人 → 24人（平成30年度から） 5歳児 36人 → 24人（令和元年度（平成31年度）から） * 2年保育児定員32人を16人に変更</p> <p><附中> 附属中学校 40人 → 36人（平成30年度から）</p>
京都教育大学	<p><附幼> 附属幼稚園 4歳児・5歳児学級（各2クラス）35人定員を30人定員へ変更（平成28年4月1日学年進行により完成）</p> <p><附小> 附属京都小学校〔当時〕（普通学級）第1学年40人定員→30人定員（平成24年4月1日）附属桃山小学校（普通学級）第1学年40人定員→35人定員（平成24年4月1日） なお、附属京都小学校〔当時〕（通常学級）第1学年30人定員を32人定員へ変更（平成25年4月1日）</p> <p><附中> 小中一貫に伴い、附属京都中学校〔当時〕の入試を廃止し1学年40人定員を32人へ変更（平成26年4月1日）</p>
大阪教育大学	<p><附小> 平成24年度入学生から、小学校の学級定員減（40人→35人）を実施した。</p> <p><附中> 平成30年度入学生から、中学校の学級定員減（40人→36人）を実施しているところである。</p>
神戸大学	<p><附幼> 27年度より、幼稚園において学年進行で20人学級を実施（25人からの定員減）</p> <p><附小> 25年度より、小学校において学年進行で35人学級を実施（40人からの定員減）</p>
奈良教育大学	<p>平成30年度から、定員を以下のとおり改定した。</p> <p><附幼> 3歳児24名、4歳児30名（2クラス）、5歳児30名（2クラス）を3歳児24名、4歳児24名（2クラス）、5歳児24名（2クラス）に改定</p> <p><附中> 通常学級1学年160名（40名×4クラス）を1学年136名（34名×4クラス）に改定</p>
奈良女子大学	<p><附幼> 平成27年度から、附属幼稚園において2年保育の募集を停止し、3年保育のみの募集とし、学級定員を30名から24名に減員した。</p> <p><附小> 平成24年度から附属小学校の学級定員を40名から35名にした。</p>
和歌山大学教育学部	<p><附小> 附属小学校では平成24年度に全学年で1クラスの児童数が30人となった。</p> <p><附中> 附属中学校では平成27年度に全学年で1クラスの生徒数が35人となった。</p>
鳥取大学	<p><附幼> 平成23年度：附属幼稚園の3歳児1学級定員20人→2学級30人に変更（全定員数170人）平成24年度4歳児2学級70人→1学級30人に変更</p> <p><附小> 平成24年度：附属小学校の1年生1学級定員を40人から35人に変更（全定員数：平成23年度480人→平成26年度420人）</p> <p><附中> 平成26年度：附属中学校の1年生1学級定員を40人から35人へ変更（全定員数：平成25年度480人→平成28年度420人）</p> <p><特支> 平成18年度：附属特別支援学校の高等部専攻科新設（定員6人）に伴い、小学部3学級18人→2学級12人に変更（全定員数変更なし）</p>
島根大学教育学部	<p><附幼> 平成30年度に学級定員を20名2クラスから25名1クラスに削減した。</p> <p><附中> 平成31年度に7年生の募集人数をそれまでの学級数は4のまま変えず、1学級35名から1学級30名に削減した。</p>
岡山大学教育学部	<p><附幼> 平成21年度32人→24人</p> <p><附小> 平成21年度40人→36人、平成24年度36人→35人</p> <p><附中> 平成27年度40人→36人</p>
広島大学	<p><附幼> 平成27年度から附属幼稚園の4、5歳児の定員を35名から30名に削減した。同じく三原幼稚園の4、5歳児の定員を70名から30名に削減した。</p> <p><附小> 平成24年度から広島大学附属小学校、広島大学附属東雲小学校、広島大学附属三原小学校の第1学年の単式学級を1学級32人とし、順次学年進行を行った。</p>

山口大学教育学部	<p><附幼> 附属幼稚園では平成27年度より、きめ細かな保育を可能とするため、4・5歳児の学級定員数を35名から25名にした。</p> <p><附小> 附属山口小学校と附属光小学校では平成24年度より、学級定員数を40名から公立学校の学級定員数に合わせて35名にした。</p> <p><附中> 附属山口中学校では平成24年度より、附属光中学校では平成25年度より、学級定員数を40名から公立学校の学級定員数に合わせて35名にした。</p>
鳴門教育大学	<p><附幼・小> 平成24年度から</p> <p><附中> 平成30年度から</p>
香川大学教育学部	<p><附幼> 平成24年度から附属幼稚園の3歳児定員を20名→18名、4歳児及び5歳児定員を35名→30名 平成24年度から幼稚園高松園舎の4歳児及び5歳児定員を35名→30名</p> <p><附小> 平成24年度から高松小学校と坂出小学校の学級定員を40名→35名</p> <p><附中> 平成30年度から高松中学校及び坂出中学校の学級定員を40名→35名</p>
愛媛大学教育学部	<p><附中> 附属中学校において、平成30年度より1クラス40名から32名に定員減とした。</p>
高知大学教育学部	<p><附幼> 平成28年度から幼稚園で、160名(3歳児1学級20名、4歳児2学級70名、5歳児2学級70名)から124名(3歳児1学級28名、4歳児2学級48名、5歳児2学級48名)に定員減を段階的に実施</p> <p><附小・附中> 平成24年度から小学校・中学校で、1クラス40名から35名に定数減を実施</p>
福岡教育大学	<p><附小> 「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の改正により小学校第1学年の1学級の児童の数の標準が改正されたことに伴い、平成24年度新入生より本学附属福岡小学校、小倉小学校及び久留米小学校の1学級の児童数の標準を従来の40人から35人への変更を行った。</p>
佐賀大学教育学部	<p><附小・中> 附属中学校の学級定員を40名から36名に平成30年度から削減。この削減は主として平成24年度から実施した附属小学校の35人学級が平成29年度に全学年35人体制となることに伴って実施</p>
長崎大学教育学部	<p><附小> 附属小学校において、平成21年度より、1学級の定員を40名から30名に変更した。</p>
熊本大学教育学部	<p><附幼> 附属幼稚園について、3歳児の入園希望者は過去5年間減少しておらず、増加傾向にある。今後も3年保育を希望する家庭は多く、3歳児受験者数は安定して確保されている。また、その一方で、4歳児クラスの入園希望者(受験者)は平成22年度を境に減少傾向にある。3年次保育が主流となった現在、3歳児で本園に合格しなかった家庭は他園に入園させるため、4歳児の受験は今後も少ないことが予想される。縮小の内容は、平成29年度から3カ年かけて定員を160名(平成28年度)から140名(令和元年度(平成31年度))に変更する計画を立てて実施してきた。今年度(令和元年度)は改定3年目にあたり、3歳児(3年保育30名)と4歳児(3年保育30名、2年保育25名)の定員は昨年度と同数のまま、5歳児(3年保育)のみが10名増え(定員30名)、2年保育(定員25名)と併せて合計55名となり、全体として昨年度比10名増の140名定員となった。本計画は今年度(令和元年度)に当初の予定通りに完成し、定員は3年保育90名(3、4、5歳各30名)、2年保育50名(4、5歳各25名)、合計140名となった。令和2年度以降は、この完成計画に従って学級定員の管理を行う。</p>
大分大学教育学部	<p><附幼> 平成29年度から幼稚園3歳児1学級32人定員、4歳児(2学級)1学級28人定員、5歳児(2学級)1学級28人定員とした。</p> <p><附小> 平成24年度から小学校1学級35人定員とした。</p>

宮崎大学教育学部	<p><附幼> 附属幼稚園の入学定員を平成25年度から2年保育32人に減らした(それまでは50人)。附属幼稚園の入学定員を平成28年度から2年保育20人に減らし(それまでは32人)、3年保育28人に増やした(それまでは20人)。</p> <p><附小> 附属小学校の入学定員を平成24年度から105人に減らした(それまでは120人)。</p>
鹿児島大学教育学部	<附小> 附属小学校においては、平成24年度から実施済み。附属中学校においては、平成30年度から入学定員を20人削減。
琉球大学教育学部	<附小> 附属小学校の募集定員を平成24年度から120名から105名とした。

イ：計画がある3大学・学部、およびその内容

岐阜大学教育学部	<附小・中> 令和2年度からは、義務教育学校（附属小中学校）の新一年生学級定員数を順次32名、新七年生学級定員数を順次35名にする計画がある。
長崎大学教育学部	<附幼> 附属幼稚園においては、令和2年度から3歳児20名1クラス、4・5歳児30名2クラスを、3歳児16名2クラス、4・5歳児32名1クラスに段階的に変更する。これに連動し、附属小学校・附属中学校のクラス当たりの児童・生徒数も変更する予定である。
琉球大学教育学部	<p><附中> 令和元年度（平成31年度）現在、附属中学校は1学級40名の4学級(1学年160名)、全校生徒160×3学年=480名</p> <p>令和3年度からは、附属中学校の新生4学級定員を現在40人を36名に減じ、順次年度ごとに行う。</p> <p>令和5年度は、全学年36名学級とする（各学年144名・全学年432名）。</p>

ウ：検討中の3大学・学部、及びその内容

千葉大学教育学部	<附中> 今後は1クラスの人数をさらに減らしていく方向で検討している。具体的には各クラス29名に帰国生3名が加わり、1クラス32名を考えている。まだ検討中であり、具体的に何年度からという段階にはない。
東京大学教育学部	<中等教育> 1クラスの人数を40名から32名に減らし、3学級から4学級に移行することを検討している。その場合、1学年あたりの定員が120名から128名に増加する。
広島大学	学内の附属学校園の機能強化を検討する会議の中で学級定員減に関しても検討している。